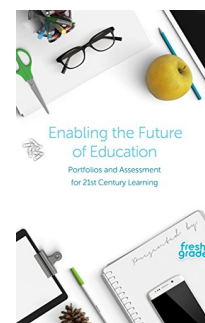


Enabling the Future of Education: Portfolios and Assessment for 21st Century Learning (FreshGrade Book1) (Kindle の位置 No.40-41). FreshGrade Education Inc.. Kindle 版.

FreshGrade Education (著), Mark Barnes (著), Kelli Vogstad (著), Antonio Vendramin (著)2016



■How Digital Portfolios Revive and Transform Assessment

■By Mark Barnes



- 約 20 年前に 8 年生の語学授業を教えていたとき、校長は教授と学習を変えると主張する新しいイニシアチブを発表した。「ポートフォリオ評価に移行する」と彼女は語った
- 「ポートフォリオアセスメント」という言葉は確かに革新的だった。背後にある理論を学び、学生を助けるために、学年を通じて成果物を収集した。
- 翌年、学生はさまざまな課題やプロジェクトに取り組み、評価を受けた後、大きなアコーディオンスタイルのフォルダに追加した。実践が進歩するにつれて、これらの太ったフォルダは扱いにくくなり、ノートブック紙、ボール紙、ポップスティックスティック、ストリングが黄ばんで多く破裂した。
- ポートフォリオを作成することは楽しい。混沌としたものだが、最善の意図を持っていた。
- ポートフォリオアセスメントの最初の 1 年間は、各生徒が各アーティファクトから学んだことを説明しようと、自分のフォルダの中の資料を見直して終了した。これらのチャットは、長くて厄介なものであった。というのは、先生と学生の両方が適切なことを捜していたから。
- 3 年後、何百ものフォルダが広大になり、ポートフォリオの評価は、他の改革案と一緒に静かに消えた。

What went wrong? 何が悪かったのか？

- ポートフォリオ評価は、学校の教師や世界中の他の学校に紹介されるずっと前から間違っていた。問題は名前の中にあっただかもしれない。
- 結局のところ、これは本当に評価ではなかった- 形成的、総括的、または他の種類。数十年前からの多くの教育改革のように、ポートフォリオもインパクトはあったが、専門的ではなかった。他のすべての教師のように、各マーキング期間の学生の仕事の最良の例を集め、フォルダや箱に入れて、年末に見直すように言われた。しかし、教師は時間がなかった。/または彼らは多くのものが削除されたポートフォリオを見つけることができなかった。何人かの学生は夏の間に家に持って帰ったり、ロッカーに残したりした。いずれにしても、古い学校のポートフォリオ評価は、主に情報の収集に使用されたツールと学習を評価するための生

徒成果物の使用方法に関する訓練の不足のために失敗した。

An old dog with new tricks

- ポートフォリオ評価は、メリットがあった。技術が進歩すると、古いアイデアも実現されていく（カメラを携帯電話に入れた時はばかげた考えだった）。パワフルなメディアツール、クラウドベースのストレージ、モバイルデバイスを使用したシンプルな共有など、21世紀のテクノロジーのおかげで、ポートフォリオの評価が再び脚光を浴びる。デジタルポートフォリオは、ポートフォリオ評価を復活させ、現代の変革をもたらしている。
- 高度な技術は、古い、太ったフォルダを仮想学習アーカイブに変え、誰もが見ることができると学習についての継続的な会話を構築している。Web およびモバイルプラットフォームの両方で、FreshGrade のようなツールはすべての教育株主に力を与える。ハードコピーのフォルダとバインダー、慎重に選択された割り当てとプロジェクトはなくなった（教師は、ポートフォリオに学生のベストワークのみが含まれていれば実際に何を学ぶことができたか？）。
- 新しいデジタルポートフォリオは、たとえコンピュータでアーティファクトが生成されない場合でも、学生が行うすべてをキャプチャする。FreshGrade を使用して、教師は学習を実証するために写真をスナップしたり、会話を録画したり、ビデオを撮影したり、生徒が作成したものをキャプチャすることができる。これらの写真、オーディオ、ビデオは、クラウドベースのサーバーに格納されており、生徒が次の学年に移行したときでも、生徒や保護者がリアルタイムでアクセスできる。
- デジタルポートフォリオはいつでもどのデバイスからでも利用できる。子供が学校で何時に何をしたのが見れる; FreshGrade を開き、タブレットやスマートフォンで学習が始まる。

Getting it right

- 誤解されている点を除けば、古い学校のポートフォリオ評価は、FreshGrade のようなデジタルポートフォリオが毎日提供する評価の重要な要素の 1 つではない。コンセプトやスキルの習得を実証する。リアルタイムのデジタル空間におけるこの繰り返しは、決して止まらない学習を生み出す。
- 何よりも、伝統的な学年（数字、パーセンテージ、手紙）は強調されない。デジタルポートフォリオを使用している学生は、「何を手に入れましたか」、「私の学年は何ですか？」という質問をしなくなった。
- 学生は、自分の仕事と教師やピアからのフィードバックをリアルタイムで見れる。どこに行くべきか？これは、ポートフォリオアセスメントのクリエイターが長い間前に考えていた可能性が最も高い。



■ デジタル・ポートフォリオ：榮譽あるスクラップブックを超えて

■ Kelli Vogstad と Antonio Vendramin



- 探求は、共通の質問や意図に関連する問題やアプローチを検討、探求、反映するために協力し合っている教師との共同学習の文化を育むことができる動的なプロセス。教育者が発見をするとき、より深く探求し、より広く学びたいという欲求によって活気づけられる。
- 質問するだけでなく、これらの質問を深く掘り下げる機会を得る。サリー・スクールで開かれた開放感、分かち合い、そして真の好奇心の文化の中で、質問の過程は一部の教師に不協和音の状態をもたらした。教師が一時停止し、実践から一步を踏み出し、反映されるようになると、不調和が生じる。教師は、学校でいつもしてきたことの多くを疑問視し、慎重な意見交換と討議により、生徒のニーズをよりよく満たすために、実践的な変化に対応している。地区全体の教師がこの不協和音を引き続き経験していると考えられる。
- その不安が原因で、多くのトピック、とりわけ学生の学習を伝える思いついた探究が行われた。

私たちは尋ねることから始めた。

- 学生の学習に関する模範的なコミュニケーションはどのように見えるか？
 - 現在のツールや戦略が、豊かな学習をもたらしているか？
 - 両親は学生の学習の支持者であるために必要な情報を持っているか？
 - それらが欲しがっているか？
 - 学生の声が聞こえるか？
- 初めは、記述フィードバック、画像、オーディオ、ビデオの形で学習エビデンスを持つデジタルポートフォリオを作成するためのツールが用意された。親に、ほぼリアルタイムで学習を示す活動に従事する授業中の子供たちを見て聞く機会を与えている。保護者は今すぐ、子供の教室を見て、アクティビティにアクセスし、子供たちが自分の時間とスケジュールで学習していることを確認するよう招待することができる。もはや、彼らは親と教師のインタビュー、家に持ち帰る製品、またはカードを報告するのを待たなくてはならない。教師には、これをすべて実現させるツールが用意されている。
 - しかし、学習は面倒。探求は旅であり、ほとんどの旅は道に盛り上がりがある。デジタルツールを手に入れて、教師がアーティファクトを簡単に収集することができた。多くのデジタルポートフォリオは、「メディア投機の間」と「栄光のスクラップブック」となった。最初は、それは新しくエキサイティングだった。親は子供たちがカメラに笑っているのを見るのが大好きで、美しい作品や、洗練された出版物。教師がコレクションに疑問を持ち始め、デジタルポートフォリオの背後にある目標を反映し始めたとき、彼らは自分自身に質問した。両親がもっと必要としなかったことが明らかになった。
 - トランスフォーメーションでは、単純なレプリケーションからテクノロジーへと移行する必要がある。学生の学習を伝えることへの問い合わせが続くにつれ、教師は学生の学習を文書

化、表示、変更、改善するためにこれらのツールを使用していたのか、私たちは技術を超えて、教育学と私たちが本当に両親に伝えてきたことに焦点を当てなければならなかった。スperlチェックの写真を撮って親に送ると、何かが本当に変わるか？自分が作成した作品を単にポーズしている学生のイメージを送信することを正当化できるか？何かあれば、これは怒っている両親のためのレシピです。

- 親としていくつかの指摘された質問をしている。失望したり、指を技術的に指し示したり、言い訳をするのは簡単だが、道を進むことは言い訳ではない。むしろ、教師とのつながりを活用し、存在することが分かっている優れた模範の一部を活用する時が来た。これらの標本は、成果物が収集され、両親と共有されるたびに、シンプルで深刻な質問をして作成され、選択される。

Where is learning? 学習はどこにあるか？

- 学習を行動の変化と表現すると、私たちは捉えて共有するものについて批判的に考えるようになる。
 - ◇ 「これまでやっていたことはできませんでした」、あるいは「私はこれをやっていましたが、今私はこれをやっています」、あるいは「これは思っていましたか、
- 私たちが書いていることは、子供が知っていること、理解すること、そしてできることを示すべき。捕らえられて共有されるものは、子どもが時間をかけて学習し、変化し、子どもの能力を伝達し、思考し、学習者としての自分の能力を伸ばす能力を示す必要がある。

Where is worth sharing? 共有する価値あるものは何か？

- 親は子供たちを最もよく知っている。多くの場合、両親は教師と子供たちができることを分かち合うことができる。両親は、どのように行動し、どのように考えているのか、両親の子供の変化を知りたい。親は自宅で子供たちをサポートしたい。両親が子供たちが何を学んでいるのかだけでなく、その理由を見せたり伝えたりすることで、両親がより良いサポートを提供できるよう支援する。同時に、ポートフォリオに表示されているものの背後にある基準を提示することで、学生と両親は「良い」と思われることを知っているので、両親を学習課題の背後にある「愚か者」の深い理解に導くことができる。さらに、仮説評価の前に説明的フィードバックを含めると、介入プロセスを支援するために有意義なデータを両親に提供することができる。

How much should we share どれくらい共有すべきか？

- 教師が自分のデバイスでエビデンスを簡単に取り込めるようになったとき、すべてを捉えなければならないと考えた。両親だけでなく、教師を圧倒しました。以前はすべてを集めて共有しなかった。
- 今なぜ始めるのか？どのくらい我々が収集し、共有することは私たちが現在に従事している議論である。
- ヨルダン Tinney にもどってくる・・・

- 「両親が本当にしたいと真の知っておく必要があるか、異なる親が別の望むものにそれを煮詰めるしようとしている」
- すべての親は、子供たちが学習し、進歩しているかどうかを知りたいと考えている。彼らは、子供たちが学習に苦勞して苦勞しているかどうかを知りたい。彼らは、先生が何をしているのか、親が子供たちをより成功に導くために自宅でできることを知りたい。そして、ほとんどの場合、両親は彼らの子供が世話を受け、安全で尊敬され、他人が好きであることを知りたい。
- 思慮深いデジタルポートフォリオコレクションを通して、親は子どもが本当に子どもを理解し、知っていることを安心させることができ、子どもが学び、成功するのを助ける。学生の学習を伝えるにお問い合わせのこの旅を続けるように、実践を改善するために、我々は何をすべきか、知っていることを反映し続けることが私たちの願いに接続となっており、これは、学生の学習にどのように関連しますか。私たちはより多くの不協和音や疑問を抱くようになっている。生徒の学習を支援するために、より効果的で有意義な方法を開発している。これは私たちの挑戦！



■ Create a Conversation with Digital Portfolios

■ By Matt Renwick



- 「だから、誰が Sneezy？」私は小学校の 1 年生の娘に尋ねた。「顔のある水筒（が Sneezy よ）」と彼女は答えた。Sneezy の写真を FreshGrade 経由で先生がデジタルポートフォリオに投稿した。家族はこの写真に、いいねを押した。

私：「Sneezy があなたの教室に行ったのはなぜ？」

娘：「私たちに細菌について教えてくれた」

私：「本当に！Sneezy はどのように？」

娘：「先生は水ボトルスプレーが私たちがくしゃみをして病気を広げるようなものであることを示した。」

私：「何を学んだの？」

娘：「くしゃみをする時、口を覆う」

- 学校で学ぶことについての特定の会話を持つ親と子どもはとても稀である。
- 両親から聞いた最大の懸念の一つは、息子と娘が学校でやっていることを共有しないということ。両親が「今日学校で何を学んだの？」と聞いても、子供の答えは通常はあいまい。
- テクノロジーは、生徒や教師の日々の生活に埋め込まれている。これらの接続を利用する最も賢明な方法の 1 つは、デジタルポートフォリオに学生の学習を定期的に投稿すること。オンラインで共有されているものは、学校についての多くの家族のための会話のスターターになっている。私たちは、家庭や学校での学習に関する対話を作成することによって、親の

関与と学生の達成度が向上することを見出した。学校の意図的な FreshGrade の使用は、これらの知見の証拠を提供している。

2 年生スペルの評価

- 2 年生のうちの 1 人は、スペルに苦しんでいる。過去には、リサイクルビンに訂正されたテストを投げて、両親との会話を避けて低得点を達成した。
- 先生が FreshGrade を使用しているので、評価結果が入力されるたびに親は通知を受け取る。家族の 3%だけがスマートフォン、タブレット、または従来のコンピュータを介してインターネットに接続していないため、アクセスは問題ではない。
- 学生の最初のテスト結果は低かった：15 のうち 2 つだけが正しい。父親はこれを見て、テストの前にその週の言葉を頻繁に調べることに決めた。次のスコアは 15 のうち 7 であった。それ以降の週：15 のうち 9 つ。学生は学習者としての成功を今感じており、父親は親としてもっと関わり、効果的だと感じている。

1 年生のライティングのリフレクション

- 教師向けの評価は、学生の強みと成長分野を強調するのに役立つ。これにより、教師に対するより敏感な指導と、子供の能力のより良い理解につながる。教師から生徒にアセスメントの役割を移すことで、学校は学習においてさらに大きな利益を得ることができる。学生が、反射的な質問と目標設定を通じて自分の学習の旅を担当するとき、彼らはその過程でより多くの所有権を持っている。彼らは、より高いレベルで達成するために、そして成功を経験する可能性がより高いために、自分自身をフックに乗せている。
- 私はこのプロセスを自分の娘と一緒に観察した。学校では、教師は約 6 週間に一度、6 つの書面を 1 年を通して投稿する予定。執筆と並行して、学生は自分の作品を見直して自己評価することが期待される。最近のエントリーでは、先生のビデオは娘との自己評価執筆会議を記録した。彼女の声を彼女の誕生日パーティーについて声を出して読ませることから始めた。
- 次に、評価に使用されたループリックにタブレットカメラをパニングした。
- 「あなたはこの執筆でどのように感じたのですか？」と先生が尋ねた。
- 娘は笑顔で指していた。「あなたの文章は本当に誇りに思っていますか？」彼女が選ぶことのできるフレーズの蓄積は、第 1 学年レベルの質の高い仕事の基準ともなった。強さを特定した後、先生は彼女が成長した領域を強調表示するように（単語間のスペースを使用して）尋ねた。最後に、娘は次回の仕事の目標を選択するように頼まれた。
「書くときには、より綴りを試してみたい」
- このプロセスはいくつかの理由から重要。最初に、書き手を褒めることによって会話を構成することは、より重要なフィードバックを受け取るために心を開く。

- 第二に、学生は現在評価を進めており、改善の可能性が高い。
- 第三に、生徒との会話を録画することによって、家族は学習を促進する方法で子供と話す方法を聞くことができる。
- 最後に、後日、教師が進路についてチェックインすることを教師に知らせることによって、教師だけでなく、学習責任を負うことになる。
- 妻と私は親教師の会議で 2 週間後に娘の先生と出会ったとき、私たちが最初に尋ねたことの 1 つは、彼女が綴りのつづりでやっていることです。先生は答えて、証拠として私たちに最近の例を示した。

Leaning is Journey 学習は旅

- 公立学校は伝統的にアカウンタビリティの名の下に学ぶ学生の成果に焦点を当ててきた。このアプローチに同意するかどうかに関わらず、学生はどのようにしてある程度の熟練度に到達するかを知りたいと思うべき。教師とその家族との会話を通して、学生が自分の学習プロセスについて最も精通していることが重要。
- FreshGrade などのデジタルポートフォリオツールを利用して進行状況を記録し、リアルタイムで成長を祝うことで、誰もが学術的優位性への子供の旅の一部となる。



■ Portfolios Improve Student Outcomes [STUDY]

■ By Matthew Renwick



- リテラシーとエンゲージメントを中心に、過去 1 年間、学校全体の行動研究プロジェクトを試みた。春から春までの成長を評価するために、授業の歩みの傾向、学生の関与調査、デジタル学生のポートフォリオの 3 つの戦略を使用した。
- リテラシーの主要な要素に関連する各データポイント：
 - **学習指導**：質問と学生の討論を含む毎日の指導の中で話すことと聞くこと
 - **エンゲージメント調査**：読書、具体的には読者としての自己概念、読書の重要性、読書の生活を共有する
 - **デジタル・ポートフォリオ**：学生に自分の作業を反映させ、フィードバックを提供し、将来の目標を設定するよう指導することに重点を置く
- 観察を書き留めて教師にフィードバックとして教えてもらうための教室訪問は、学生の討論の頻度が増えたことを示したが、より高いレベルの質問ではなかった。
- 結論としては、積極的な成長を見るためには、教室で質問を中心に専門的で持続的な専門的な開発が必要である。
- 読書係の調査結果は面倒だった。小学校の生徒は、秋から春にかけて、読書の気持ちについて大きな成長を示した。中間の学生の結果は停滞していた。高齢の一部の学生は退行した。

より若い年齢では、暫定的な評価（ランニング・レコード）によって測定されたように、読書の達成度が著しく向上していることは注目に値する。

- 結論を出していない。アンケート自体は、生徒にとって中間的なものではないかもしれない。若い年齢層では、学生がベンチマークの書籍を使って順調に進んでいるように、評価システムが構築されている。
- このポストで学生の文章やデジタルポートフォリオに関するデータを共有する前に、いくつかのことを明確にしたい。
- 少数の教師が春の筆記データを記録するのを忘れていた。データセットに学生を含めなかった。最初の年（2011年から2012年）の結果は、6つの文章の特性に基づいてループリックを使用した。昨年は、学生の文章を評価するための両方のループリックを
- すべてのスタッフが翻訳者の信頼性を確保するために使用し、6つの文章の特徴と高度に相関していた。
- 春のショーケースを超えてポートフォリオ・プロセスが使用されなかった学校の最初の1年間の結果は、2つのチームですべての論文にスコアを付ける地区志向の評価チームから来た。今年のデータは、教師だけによって採点された。
- これをすべて念頭に置いて、元本（ポートフォリオ・プロセスを整備していない）と昨年（包括的なポートフォリオ・プロセスでの準備）として、最初の1年間から書面による学生の成績を以下に示す。
- 2011年～2012年：秋から春にかけて10%の成長
- 2015-2016：秋から春にかけて19%の伸びを示す。
- これらの結果を確認するための文書がある。
- 今年のプロセスについていくつか興味深い情報がある。すべての教師は、デジタルポートフォリオツールで少なくとも年に6回、学生の書面を文書化することが期待されていた。さらに、各学生は、自分が成功したことを強調し、成長領域を特定し、次にデジタルポートフォリオに書き込みをアップロードするように求められた目標を達成することによって、自分の仕事を反映することが期待された。
- デジタルポートフォリオツール、FreshGradeは、家族から好評を博した。これらの家族との調査結果は、学年の経過に伴って定期的に学生の学習を共有するためのこのツールの使用に対して圧倒的に肯定的な反応を示した。実際には、複数の親がより多くの投稿を求めているので、私たちは十分に分かち合っていなかった。
- デジタルポートフォリオによる学生の仕事に家族によって残されたコメントは、教師が学生の仕事の多くを分かち合うように動機づけられたように見えた。スタッフは、ポートフォリオ評価を実施するための追加のトレーニングを依頼した。会う日程を選択し、集中するアジェンダ項目を提供することができる。

- フィードバックと形成的評価に関する研究を読み、学習者が形成評価に集中し、学習したときにフィードバックを提供するとき、教師としての効果を教師として倍増させることを多くの研究が示している。19%の成長率は、2011年から2012年の間に達成した倍の2倍。
- 「先生は、5年前より優れたライティング教師だったのでは？」というかもしれない。しかし、測定したのは、秋から春にかけての成長であり、長年にわたる縦成長ではなく、結果を比較したもの。教師は、今年の学年に彼らの教授が指導した影響を所有する。教室での話しや聞き取りを向上させる教師の能力を向上させるための正式なトレーニングはなかった。
- 読書の戦略は測定されたが、専門家の開発中は対処されなかった。このプロセスを文書化して共有するためにデジタルポートフォリオを組み込んだポートフォリオプロセスの作成だけが、教員養成の焦点。
- これらの結果は有望だが、私はこの時点で大きな結論を出すつもりはない。高等教育機関とのパートナーシップを追求し、将来に見られる結果や結論が確実に特定の閾値を満たしていることを確認することに興味がある。
- 最後に：このプロセスではテクノロジーが重要だが、仮説はデジタル作品はポートフォリオプロセス自体に二次的なものであったということ。生徒に自らの学習を自覚し、教師の質問とフィードバックを通じてゴール設定に関わることをより自覚させるように促すことは、ほとんどの場合その違いを生み出した。
- このトピックの詳細については、デジタルブック「デジタル学生向けポートフォリオ：接続学習と継続的評価への学校全体アプローチ」を参照 Kindle、Nook、iBooks で利用。
- Google コミュニティに参加して、他の教育者との学生向けのデジタルポートフォリオのトピックについて話し合うことができる。最新の本をチェックしてください。5 教室技術に関する誤解：本当に学習を強化するためにデジタルツールを統合するには？（ASCD Arias）。



■ Reflecting on Learning with Digital Portfolios

■ By Brian Newbold



- 学生との有意義な会話をするのは難しい。典型的には、コメントを書いたり、ループリックに記入したり、数値スコアを割り当てたりして、紙の割り当てを重ねることになる。生徒が自分のマークについて混乱した場合は、聞いてみるかもしれないが、まれである。このルーチンでは、割り当てが開始された時点で学習が終了した。これは、学生とのコミュニケーションに効果的な方法ではなかった。先生として成長したとき、形成的評価をますます大事にし始めた。
- 生徒が学習プロセスを熟読して話すチャンスがあるとき、成長の考え方を開発し始める。自己反映は、学生が力の領域を祝うこと、弱点の領域に対処すること、および自分自身の学習目標を設定することを可能にする。生徒が自分の学習について考えるように促されるとき、焦点は最終成果ではなくプロセスに移る。自己反映は徐々にルーチンの一部となっている。
- 課題中に、生徒はどのように進行しているかを反映するために一時停止するように求められ

る。課題が終わると、学生はうまくいった部分と改善できる部分を検討するように求められる。コメントは進行中のコメントに置き換えられる。

- 生徒との会話は、最終製品に価値を与えるよりもはるかに成長を促す。今年、クラスのデジタルポートフォリオを作成するために FreshGrade を使い始めた時、学生と両親が課題に簡単にコメントできることに気づいた。
- FreshGrade のコメントシステムは、生徒が必要なときに自分の仕事について伝えることができ、両親がディスカッションに参加できるので便利。評価は手続きではなく会話になる。自己リフレクションの習慣を育むにはしばらく時間がかかる。学生が真に意味のある方法で学習について話す前に、多くの練習が必要。
- 当初、学生は価値のあるステートメントに向かって動いている。「私はこれでうまくやった」、あるいは「ここでもっとやる必要がある」という典型的な発言。最初は、多くの学生がリフレクションの言葉に精通していない。リフレクションを始める方法や言いたいことを知らない。
- 学生への4つのヒントは次のとおり：
 - 1.授業時間と励ましを提供する。**
生徒はリフレクションの価値を見ないかもしれない。毎週のルーチンの一部にすることによって、この習慣を構築し始める。
 - 2.生徒に意味をリフレクションさせるように圧力をかけることはしない。**
彼らの心に何があるのかを話すことができれば、学生の感想はより意味がある。学生にどのような意見を反映させるかを選択させる。学生リフレクションにマークを付けない。
 - 3.それを会話にする。**
生徒の意見は、生徒、教師、保護者の間の会話の出発点として役立つ。
可能であれば、学生の反響に返答し、両親に同じことを奨励する。
 - 4.リフレクションの言葉を練習する。**
意味のあるリフレクションの例を提供し、プロンプトを使用する。
生徒の意見に答えるときは、同様の言葉を使用。
- 7年生の学生はリフレクションするように求められる。リフレクションを喚起するために指導的な質問が必要。このことを念頭に置いて、学生がデジタルポートフォリオを使って学習に自己反映を促すよう促す一連のプロンプトを作成。教室で印刷して使うためのポスターがいくつかある：

Prompts for Self-Reflection in your Digital Portfolio

“HOW I FEEL ABOUT THIS PROJECT”

- これは私の好きな作品です。なぜなら...
- これは私の最良の例です。なぜなら...
- 私の強みの1つは... 　　です。なぜなら... が示しているからです。

- これは私の性格を表しています。なぜなら...
- この課題の私の好きな部分は...
- この課題の中で最も好きな部分は...
- 私はこれが挑戦的であることがわかった。なぜなら...
- 私は...という助けを受けました。なぜなら...
- もし私がこれをやり直せたら、私は...に変わるだろう
- 私は将来このことを覚えています。なぜなら...

Prompts for Self Reflection in your Digital Portfolio “OBSERVATIONS ON MY LEARNING JOURNEY”

- 私は投稿することを選択する。なぜならそれは...を示すからです。
- ここで私が改善できる分野は...
- 私の先生はこれが好きだった。なぜなら...
- これは基準を満たしています。なぜなら...
- これは基準を超えている。なぜなら...
- この作品についての他人からのコメントは、...があります。
- 最も異議を唱えた部分は、...です。
- 私が学んだ重要なことは、...です。
- これについての私の進歩は、...です。
- 私の作業は成長を示している。なぜなら...